

# 【社会政策・労働問題】 松丸 和夫 ゼミ



南洋理工大学経済学会との合同セミナー(2016年5月12日多摩キャンパス)を終えて

## 演習テーマ：日本人の働き方と社会政策

若者のフリーターやニートが増加する一方で、休暇を取ることも休日に休養することもままならない働き方をする若者が増えています。たとえ正社員として就職しても、「ブラック企業」でいじめや過重労働で働き続けることが困難なことも予想されます。社会保障制度や企業の雇用管理、若者の生活態度や意識と関連させながら、人生における仕事の意義、個人にとっての働きがいということについて、学生自身の将来のキャリア形成と結びつけて研究しています。どんな仕事に就くかということよりも、どのような働き方を求めるのか、に重点を置いた研究をしています。

### <活動内容>

毎週のゼミでは、テキストと参考資料を基に発表と討論の繰り返しです。さらに、インタビューやヒアリング調査を通じて得た生の情報を吟味しながら、研究の裏付けをとり、奥深い勉強をしています。夏休みと春休みには合宿を行い、論文やプレゼンテーション大会の追い込みです。もちろん、懇親会やウォーキングという楽しい行事も行います。3年次の秋には学内プレゼンテーション大会に参加します。準備のために多くの時間と労力を費やして達成感を得て終了します。

海外での活動として、2007年12月には3年生のゼミ員が中国北京の清華大学を訪問し、学生学術シンポジウムに英語論文とプレゼンテーションで参加しました。また、2010年2月には、2年生全員が韓国ソウルにおいて、労働市場に関する調査・ヒアリングを実施しました。協定校である江南大学の学生との交流が盛り上がりました。2011年も韓国

での調査を計画していましたが、東日本大震災のために中止となりました。2012年は、台湾を訪問して、日本と台湾・中国の経済アライアンスと雇用労働慣行について比較調査を実施しました。2013年2014年と連続して、シンガポールを訪問し、日系企業やシンガポールの政府機関の調査、南洋理工大学との交流をおこないました。2015年3月には香港の日系企業等の実態調査をおこないました。2016年3月に南洋理工大学を訪問し、同年5月には中央大学で南洋理工大学経済学会との合同セミナーを開催しました。2017年9月に、「働き方改革」をテーマに3年次生15人がシンガポールでの現地調査を実施しました。

#### <ゼミ紹介>

合宿では、論文の書き方、プレゼンテーション、グループディスカッション等を2～4年合同でおこないます。各学年15人前後の学生同士が和気あいあいと活動に参加しています。